

福生 FUSSA

第 62 号

59年 7月 20日

発行 福生市議会

東京都福生市本町5番地
電話 0425 (51) 1511 (代表)

市議会だより



野球の選手になりたい!!

看護婦さんになりたい!!

みんなで七夕さまにお願いしました

—すみれ保育園で—

梅雨空のうつつとうしい六月、第二回定例会が開かれました。

今回の定例会では、専決処分三件と五十九年度一般会計補正予算(第一号)や下水道事業会計補正予算(第一号)、受託水道事業(第一号)、工事請負契約の三件、一般表彰六件などが審査されました。

第一日目 会期を十二日から二十一日までの十日間と決定した後、五月の選挙で再選された市長からの発言があり、四年間の市政について方針を述べました。

引き続き、議員と職員の六月期期末手当の支給割合を定める条例が追加提案され、原案のとおり可決されました。

そして、通告のあった七人の議員の一般質問に入り、中学校給食問題や道路、福祉、緑地の保全対策など十七項目の質問をし、市長の考えを聞ききました。

第二日目 前日に引き続き一般質問を行った後、市長提案の審議に入り、専決処分の三件が承認されました。

福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例と

第二回 定例会

福生市都市計画税条例の一部を改正する条例は総務委員会に付託され、五十九年度福生市一般会計補正予算(第一号)は、三つの常任委員会へ付託されました。また、下水道工事に係る工事請負契約三件と、一般表彰六件についても異議なく同意されました。

第三日目 休会中に審査された各委員会の審査報告が委員長からなされ、条例の一部改正や、五十九年度一般会計補正予算などは原案のとおり可決されました。

また、新たに提案された屋外運動場新設工事請負契約、及び議員より提案された国鉄八高線八王子・高麗川間電化早期実現に関する意見書も可決された後、七月十九日に任期満了となる農業委員二氏を議会推せんしました。

待望の地域会館

田園地区に来年三月完成

今回の定例会に提案され、原案のとおり可決された一般会計補正予算(第一号)の中には、五十七年の九月に議会に提出され、継続的に審査を重ねながら、翌年の一月の臨時会で採択となった「南田園地区地域会館新設に関する請願書」に絡む「仮称田園地区学習等供用施設」の新築事業費が含まれています。春にはれんげ草が、また、秋には黄金色の稲穂が人の心を和

ませてくれていたこの田園地域は、五十年の七月に竣工した多摩河原土地区画整理事業以後、急速に発展し、人口の増加も著しい地域であり、現在ある地域会館を利用する場合には、遠くを横断しなければならぬという不都合な面があったわけですが、新しく建設される地域会館の完成後は、地域の方々の有効な利用も望まれています。

この地域会館は、市民の集いや学習の場として、つまり市民のコミュニティの場として、市内の各小学校の学区内に建設されてきたものです。今回建設される地域会館は将来的には児童館機能を持たせた会館にした

室、休養室、保育室など現在市内にある、わかたけ会館や白梅会館とはほぼ同じ内容の設備となっており、総事業費は一億五千四百二十三万八千円となっております。

建設する場所については、地域の中心が望ましいわけですが、用地を確保することも困難なこともあり、市が以前から確保していた南田園三十一一(第三中学校前)に予定されています。

建物の規模は、鉄筋コンクリート造り二階建、延床面積が五百五十八平方メートルで、会議



地域会館建設予定地

農業委員会委員に2氏を推せん

福生市農業委員会の任期(3年)が7月19日をもって任期満了となるため、今定例会の最終日に議会推せんの委員として次の2氏を推せんしました。

高水惣八氏(熊川343) 石川泰一氏(熊川48)

人事

- | | |
|-----|----------------|
| 6月 | |
| 12日 | 本会議 |
| 13日 | 本会議 |
| 14日 | 厚生委員会
建設委員会 |
| 15日 | 総務委員会 |
| 19日 | 議会運営委員会 |
| 21日 | 本会議 |

審議日程

一般質問



第2回定例会では
7人の議員が一般
質問を行いました

市長再選後の

重要施策は何か

質問 豊かな福生市をつくるための施策についてお尋ねしたい。

① 先の選挙で当選した市長に、これからの任期中何としても実現したいと決意されている施策についてお聞きしたい。

また、駐輪場の具体的な考え方、市民の健康管理のための予防医学の問題、さらに、西口再開発の取り組み方についてもお尋ねしたい。

② 国道十六号線の基地側への拡幅はすでに終わっているものの肝心な道路の整備は手つかずの状態であり、地元のお店では、この遅れのために大きなダメージを受けている。

奥多摩街道の道路工事については、一定の期限をつけて早期に完成させるといふ決意を持って対応できないものかどうか。

③ 当市では、本年度熊川地区の調査を実施し、整備計画を立てるわけだが、この地域にある武蔵野会館及び遊園地の用地を開発計画に先がけて、先取りする考えはないかどうか。会館には賃借権もあり、むずかしい要素もあると思うが、市の考え方をお聞きしたい。

④ 拜島駅北側は南北を分断され、地域住民は日常生活の面でも不便を来している。

以前にも要望した旧十六号線の地下道建設を拜島駅周辺の開発とも絡み、実現できないものかどうか。

また、この地域は横田基地にも近く、防衛施設庁等にも強く要望し、事業の推進をしてほしいと思うかどうか。

市長 ① 二期目にあたっても、引き続き健全財政を堅持し、山積する教育施設、福祉施

策の充実をはじめ、福生駅西口周辺の再開発及び熊川地区の区画整理事業を心新たに努めていきたい。

また、貴重な御意見は、実施計画の策定委員会で検討するよう指示している。

建設部長 西口再開発については、計画を縮小していく考えがあるかとの御指摘と思われるが、手法等はやはり関係者と十分協議し、慎重にやる必要があると思っている。

市長 ② 国道十六号線については、前年度を大幅に上まわる予算を計上し、一部工事にも着手するとの話を聞いている。

また、奥多摩街道については、五十八年度の現況測量に引き続き、用地測量がされるとも聞いており、来年度以降用地買収に入ってもらおうよこれからも強く要請していくつもりである。

建設部長 国道の拡幅については、地元商店街で何か腹案を持っているとのことであるが、御要望にはできるだけ応えられ

るよう調整していきたい。

市長 ③ 熊川地区整備計画の策定にあたっては、拜島駅周辺のプランも盛り込み、対処するつもりである。

また、御指摘の用地買収の件については、六十一年度以降に遊園地の用地を買収するつもりである。

建設部長 武蔵野会館については、建物を持つ町会に土地の権利もあり、町会の意向もあると思われるので、その辺の検討もさせていただき対処したいと思っている。

市長 ④ 昨年昭島市長と拜島駅の自由通路の建設について話し合ったわけだが、当市においても実現に向けて研究するよう指示している。

相当な事業費がかかるものと思われるが、横田基地を抱える両市にとっては、それなりの理由もあり、防衛施設庁へも要望し積極的に対応するつもりである。



整備が待たれる奥多摩街道

のの肝心な道路の整備は手つかずの状態であり、地元のお店では、この遅れのために大きなダメージを受けている。

国に対しては、横田という米軍施設に特段の配慮をするよう強く訴えるべきと思うかどうか。また、都道

また、この地域は横田基地にも近く、防衛施設庁等にも強く要望し、事業の推進をしてほしいと思うかどうか。

また、御指摘の用地買収の件については、六十一年度以降に遊園地の用地を買収するつもりである。

努力してほしい

自然林の保護

質問 市内の緑は、二十七年間で四分の一に減少していると言われているが、熊牛緑地に続き、この三月に完成した加美上水公園は、自然林を生かしたすばらしい公園である。

緑の保全については、市民も身近な問題として考えなければならぬと思っているが、残された数少ない自然林の保護について、市ではどのような対策を持っているのか。

また、市内には、何十年何百年と生き続けた大樹がある。

国では天然記念物として、また、ある市では条例を定めて保護しているところもあるが、当市ではどのような考え方をしているのかお尋ねしたい。

市長 年々減少の傾向にある緑地、自然林の保護については、市民の要望も高く、大切に保存していきたいと思っ

ています。来年度から仮称原ヶ谷戸緑地の保全計画があるが、事業の実施にあたって、関係地主の方々の御協力をいただくよう努力するつもりです。

また、大樹の保護について

は、地域のシンボルとして心が和むものもあり、市民の御理解と御協力を得ながら、積極的に保存のための調査、研究をしていきたいと思っ

ゲートボール場

地域別に建設を

質問 六十五歳以上のお年寄りが、高齢化社会の目安となる総人口に占める割合の二ケタに近づきつつある。

当市でも約三千名のお年寄りがあると聞

いるゲートボール場が当市には、十一カ所十三面あるとされている。

しかし、実際には公園と併用であったり、福生野球場のように野球がある場合には使用できないところもある。



に普及しているゲートボールの愛好者が当市にも約二百名程度おり、グラウンドの整備については、積極的に取り組む考え

ている。本年度は南公園に二面、加美地区の民有地をお借りし二面、それと永田橋際の市有地にも一面整備するつもりでいる。

今後民有地の借用等で増設していき

福祉行政の

基本的な考えは何か

質問 すべての市民が健康で文化的な最低限度の生活を営めるためには、福祉事業の推進が必要不可欠である。

このたびの選挙で当選し二期目を迎えた市長は、今後四年間にわたる福祉行政をどのような考え方で推進していくのか、その基本的な考え方を

お聞きしたい。また、老人問題、さらには障害者対策等、行政が手だてをしなければならぬ施策を具体的に

お尋ねしたい。市長 市民自らが努力する自助の精神が個人に育つこと。また、市民自身がお互いに助け合

う互譲の精神が地域に生まれること。さらには行政が個人や地域社会の力では不可能な分野へ必要な援助が図れること。

この三つの調和がとれば望ましい福祉社会の実現が図れるものと思っ

ている。換言すれば行政も十分力を注ぐが、市民自身も自らの役割を果さなければ新たに発生する福祉問題に対応できないものと思っ

ている。また、良好な都市環境の整備に努め、市民の健康管理体制の強化、拡充をすることにより真の社会福祉に直結できるものと思っ

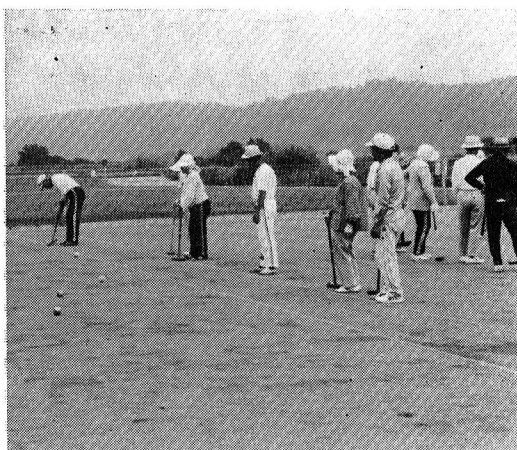
ている。具体的な施策については、時代にあった施策を指示したところであるが、今後、ゼロ歳児保育の拡充、児童館機能を持った地域会館の建設、さらには明るく老後を送っていただくために高齢者事業団の育成、及びれば作業所の充実、難病手当の検討などを考えている。

保育園の移管問題

その後の状況はどうか

質問 都立保育園の市への移管についてはなかなか進んでいないようであるが、三月議会の折に都との協議に

応ずるとの回答があったわけである。



腕前とはもかく健康維持のため

各地域、町会別に一つずつ増設できないものかどうか。

また、柳山公園や消防署建設予定地などの整備計画、あるいは天候型ゲートボール場の建設を考

えているかどうかもお聞きしたい。市長 全国的

その後交渉が始まっているかどうか。

また、二市二町では歩調を合わせていくということであるが、どのような会議・検討がなされているのか。

それぞれの市町では都知事に回答している文書が微妙に違っているが、その点についてもお聞きしたい。

市長 都立保育園の市移管についての考え方は今も変わっていないが、当市で三月二十七日付けで回答した後にも都の方から何の連絡もきていない。

また、二市二町の文章のニュアンスについては、それぞれの市町の考えがあると思うが、基本的には二市二町共同で解決していくということを御理解願いたい。

ボランティアに不可欠な

総合保険制度の加入

質問 スポーツシーズンの到来で、後輩の育成に喜びと生きがいを感じながら指導するスポーツボランティアが数多くいる。

しかしながら、練習、あるいは試合中に不慮の事故が発生した場合、これらのボランティアが責任を問われる事例も起きて

いる。

奉仕的に指導しているボランティアが安心して指導できるよう、スポーツボランティア保険に加入する考えがあるかどうかお聞きしたい。

また、現在、スポーツ、レクリエーション活動で加入している傷害保険は、種目別及びそれぞれの団体等で重複している不合理さがある。

個人、団体を問わず、市の行事、あるいは町内会、PTA、その他の団体すべての活動を対象とした総合保険補償制度への加入の考えがあるかどうかもお尋ねしたい。

教育次長 現在市では、市民スポーツ大会やスポーツ教室を担う体育指導員や水泳、テニス、スケート等の実技指導員にも災害保険に加入しているほか、市民体育館でも、スポーツ傷害保険、あるいは施設賠償責任保険に加入している。

また、市民総合体育大会や都民体育大会などに参加する選手、役員、学校施設を市民が使用する際にも市負担で保険には加入している。

御提言の総合保険補償制度については、今後十分に検討させていただきます。

コンピューターの導入で

行政も経営的感覚を

質問 コンピューター等の普及は大変なブームである。

年々増加する電算処理委託料を検討すると同時に厳しい財政の中で自治体でも経営的感覚、経営的技術を取り入れ、市長が常々発言されている市民サービスに徹するべきと思うがどうか。

また、内部事務処理にしても事務の省力化、あるいは行政水準の向上が図れるものと思われるが、それらを踏まえて、検討委員会で検討されている内容といつ頃導入されるのかその見通しについてお聞きしたい。

なお、組合との関係についてもお尋ねしたい。

企画財政部長 行政事務にコンピュータを導入することは、事務効率の向上を図るばかりでなく、市民サービスのためにもその必要性は高いものと思っている。

現在、行政事務改善委員会の中に専門委員会を設け、検討しているところであるが、構成するメンバーによる先進地の視察等も実施し、十月を目標に機械化についての考え方を明らかに

していきたいと思っている。

なお、組合とは、研究会そのものについての了解は得られており、進捗状況については報告するようになっていく。

早期整備が望まれる

市道幹一—四号線

質問 内出交差点から国道十六号線に向う市道幹一—四号線（都市計画街路二・一・三号线）の朝夕のラッシュは、相当な混雑、渋滞を呈し、附近住民は騒音と排気ガスに悩まされている。

この道路の拡幅整備は急を要するものと思われるが、計画をお聞きしたい。

しかも陸橋から交差点までは、幅員十八メートルあるのに対し、その二分の一にも満たない。

また、五十九年度予算に調査費が計上された熊川地区の土地区画整理事業については、拜島駅の再開発とも関連して住民も

大きな関心を持っている。

調査から実施に至るまでの概略と事業費、減歩率等についてお尋ねしたい。

市長 お話の路線は、性格的には都が施行すべき路線であるが、都では立川基地跡地、秋留



交通量の激しい内出交差点



台開発等の大型プロジェクトを抱え、本路線の事業決定にはまだ時間がかかる状況である。

このような状況から、市では面的整備、つまり土地区画整理事業の中に取り入れた方が、補助金も多く期待でき、事業の推進にも有利とも思われ、熊川地区の開発の中で考えた方が早期に整備できるのではないかと考えている。

また、五十九年度予算に調査費を計上した御質問の実施に至るまでの概略については、調査が終わる次第、議会に説明し、地元説明会、縦覧等の法的手段を取り、その後区域決定、事業認可を受けて着手という手順になる。

建設部長 減歩率については、実施設計、単価基準等がでないかと申し上げることはできないが、通常、市施行の場合で二四％から二五％が多いようである。

また、調査の範囲は、五日市線の熊川駅以南で多摩工業高校と奥多摩街道に挟まれた約六十五ヘクタールである。

この範囲の中から実施すべき区域を検討するわけだが、まずは調査に向けて努力していきたいと思っている。

水銀汚染問題

積極的にPRせよ

質問 水銀電池に代表される水銀汚染が、大きな社会問題となっている。

これらの有害ごみは、埋めれば土中に汚染し、業者に委託すれば大変な経費のかかる厄介なものである。

早くから分別収集をしている町田市では、埋め立地の土中から水俣病の原因ともいわれているメチル水銀が検出されたとも聞いている。

三月から分別収集を実施して

いる当市では、その最終処分をどのように考えているのか。

また、乾電池は外の部分が腐食しなければ、水銀の出でくる心配がなく、長期にわたっての調査が必要であるが、不燃ごみの最終処分地の調査ではどうか。

なお、分別収集にはPRが必要であり、専用袋の配布、あるいは清掃車での放送などをもっと積極的にすべきと思うがどうか。

いるところである。

また、最終処分地の調査については、四力所に井戸を掘り、年四回水質検査を行っているが水銀による地下水の汚染結果は出ていない。

なお、PRについても清掃日より、広報等で分別収集の徹底を図っており、最近では約八割が分別収集で回収されるという結果も出ていることから、特に専用袋の配布などは考えていない。

市民部長 水質検査については、投入前の五十七年七月、その後の十月、さらに、三、六、九、十二月の四回と五十九年三月にアルキル水銀の検査をしているが、いずれも不検出である。今後とも都の指導を仰ぎながら監視を続け、その態勢は整えていくつもりである。

地域環境にあった

内出派出所の移転を

質問 内出派出所は、戦後二十一年に駐在所として設置され、五十年三月に現在地に移転したものである。

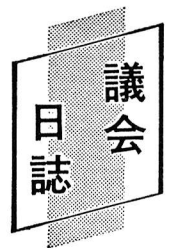
当時は、交通の要衝として重要な場所であったわけだが、交通網の著しい発達により、主要道路は、派出所から東に四十



困っています 乾電池対策

市長 使用済乾電池は、分別収集している市町村が多く、収集後、保管のままの状態では処分方法に苦慮している。

当市では、独自の処分方法について経費面、あるいは処分地の面から考えておらず、現在、廃棄物広域処分組合で調査し、近く最終処分その結論を待って



4月	1日	東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合開場式
	10日	東京都議会議長会総会
	19日	西多摩地区市町村議長会
	20日	市議会だより編集会議
	25日	鳥取県境港市視察来市
	26日	厚生委員会
5月	(27日まで)	関東市議会議長会総会
	4日	東京都三多摩地区消防連
	7日	営協議会
	7日	全国市議会議長会基地協議会(9日まで)
	8日	東京都市議会議長会総会(9日まで)
	10日	三多摩上下水及び道路建設促進協議会定期総会
	11日	東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合議会
	21日	大多摩観光連盟監査
	23日	全国市議会議長会基地協議会
		関東ブロック会議

五十メートル、北に七十、八十メートルの所を通る状況になっている。

警察の任務は、社会公共の安全を守るためのものであり、周辺地域の開発と道路事情の変化に対応して、できれば適当な場所に移転することが望ましいと思っている。

幸い内出交差点の角に移転するのに十分な都の管理地があるかどうか。

市長 派出所の持つ重要性から、地域環境の変化に対応して移転を考えることはお説のとおりである。

東京都、あるいは警察署の方には要請しているところであるが、御提案をもとにさらにその実現方について強く要望していきたい。

迷惑な風俗営業地域

環境整備の対策は何か

質問 東口周辺の風俗営業地域は、悪質な客引き、時間外営業等で、また、通学、通勤で道行く地域住民にも大変な迷惑をかける問題も多い。

社会的問題として、関係機関とも協力し、防犯カメラを備えるなどの具体的対応策を進めるべきと思うがどうか。

議会を傍聴しましょう

次の定例会は9月です

定例会は、毎年3月、6月、9月、12月の4回開かれています。

議会は住民要求を反映させる場所でもあります。ぜひ一度お出かけになり、傍聴してください。

訓練飛行の騒音

強く中止の要請を

質問 横田基地は、米第五空軍司令部が置かれ、極東全域に配備されている米空軍の一大拠点となっているほか、核攻撃の能力を持つF15、F16戦闘部隊の指揮下を持つばかりでなく、状況に応じては直接発進させることのできる前進基地にもなっている。

核魚雷の搬入が目撃されている事実や特別警戒施設が存在等が国会でも明らかにされ、日ごとに核戦争能力を強化している横田基地を抱える福生市の市長として、核戦争反対の立場をき

いた。また、福生駅利用者の約六割が乗降する東口にも、住民の生命と財産を守る警察派出所を新設すべきとも思われるが、計画があるのかどうかお聞きしたい。

市長 御指摘をいただいた東口の飲食街には、一部問題を持つところがあり苦慮しているが、御提案については、警察とも十分協議していききたいと思っている。

また、派出所の新設については、職員が最低八名必要という問題もあり、都の財政上からもむずかしいとも思われるが、これらについても十分検討、協議させていただきます。



横田基地に駐機中の米軍機

っぱりと取る必要があると思われがどうか。

また、核の持ち込みがないと信じているならば、非核都市宣言をすべきと思うがどうか。

なお、ブロークンアローの演習や艦載機の市上空飛行等に対して、防衛庁などへは中止の申し入れをしていると思われるが、その点についてもお聞きしたい。

市長 横田基地の核基地化については、国と国の問題ではあるが、非核三原則を厳守しているわが国にはないものと確信している。

また、私自身、国会等で論議をされているが、危険なものはない輸送基地と認識している。

非核都市宣言については、前にも申し述べているようにする考えは持っていない。

- 25日 八高線電車化促進期成同盟会総会
- 27日 東京都市収益事業組合議会視察(28日まで)
- 29日 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会総会、多摩地域都市モノレール等建設促進協議会総会
- 30日 全国市議会議長会総会
- 6月
- 1日 全国市議会議長会基地協議会実行運動
- 5日 議会運営委員会
- 12日 第二回定例会(第一日目)、全員協議会
- 13日 第二回定例会(第二日目)
- 14日 建設委員会、厚生委員会
- 15日 総務委員会
- 19日 議会運営委員会
- 21日 第二回定例会(第三日目)、全員協議会
- 22日 横田基地対策特別委員会
- 26日 八高線八王子・高麗川間複線電化促進協議会監査東京都三多摩地区消防運営協議会



なお、演習等については、そのつど、防衛施設庁や外務省などに申し入れをしており、福生市を自信を持って守っていることを御理解いただきたい。

市の機構の中に

基地対策課の設置を

質問 新たに再選された市長に横田基地を抱える福生市としての基本的な基地対策、及び市の機構の中に基地対策課の設置をする考えがあるかどうかお聞きしたい。

また、四月以降、艦載機の離着陸訓練も多く市内上空を旋回し、特にこの二、三日の騒音は激しくなっている。

飛行コースの変更については基地から連絡があったのかどうか。なければこちらから聞くこともできると思うがどうか。

なお、三月から五月にかけての離着陸数についてもお聞きしたい。

市長 効率的な行政運営を図るため、すでに当市で組織検討委員会を設け検討を進めている。

基地対策課の設置については現時点でも特に支障はないが、今後基地の対応も含めた行政推進を図る中で、諸情勢を見極め

ながらその時点で検討したいと考えている。

なお、飛行コースの変更等の連絡はないが、防衛施設庁あるいは、基地司令官には連絡をとるつもりである。

市民部長 三月から五月にかけての飛行回数については、本年度三月の飛行総数が千七百五

万全かどうか

市の交通安全対策

質問 交通安全対策についてお尋ねしたい。

① 交通事故ゼロを目指し、昨年三月交通安全都市宣言をし

十四回、昨年は千七百七十六回となっており二十二回の減、四月が千五百二十四回に対し千七百二十五回で二百一回の減、五月は千七百七十四回に対し、千四百八十一回、二百九十三回の減となっている。

た当市では、諸施策を実施し努力されているが、それでも交通事故は後をたたない。

最近における事故の状況はどうなのか。

② 交通安全

に万全を期し、五十九年度予算も前年度を大幅に上まわる予算が計上されている。福生警察署管内の二市二町

の中で条例を定め、交通安全対策に携わる者への労に報いているところもある

が、当市ではどのような考えを持っているか。

③ 道路で転倒し、市が責任を取らされた事例がある。

学校周辺及び通学路の整備状況はどうか。

④ 昨年十二月定例会に提出された七小近くの歩道橋設置の陳情は、議会で採択されているが、その後の進捗状況はどうなのか。用地の問題等むずかしい点もあるようだが現況をお聞きしたい。

市長 ① 本年一月から四月末までの交通事故の状況は、死亡者一名、重傷者七名、軽傷者五十四名となっている。

昨年同期との比較では、重傷者一名、軽傷者六名が減っているが、交通安全都市宣言の趣旨に基づき、今後も取り組んでまいりたい。

② 交通安全対策については、安全協会福生支部、町会をはじめとし、PTA、老人クラブ等の団体にも協力していただき感謝している。

市では、これらの活動に必要な物品、あるいは情報の提供をし、安全協会福生支部及び町会に対しては指導委託料を、また、一部役員の保険への加入もしている。

御指摘の点については、各種団体とも協議し、御労苦に対してはこたえていきたい。

④ 歩道橋の設置について

は、現在建設部で設計を検討しているところであるが、階段の最低幅員が一メートル五十センチ必要であり、現況では、民用地側に歩道幅員と同じくらいの用地が必要となってくる。

過去において、用地の確保ができなかった例もあるが、設計ができ次第、地主の方との話し合いを進めていきたいと思っている。

建設部長 ③ 市道の約四〇％を占める通学路の整備状況は、八千五百メートルの防護柵、四万六千メートルの側溝の蓋かけなどがなされている。

今後も児童、生徒が安心して通学できるよう、学校周辺の道路ともあわせ、重点的に整備していきたいと思っ



子どもたちに交通安全を呼びかけるパンフレット

第2回定例会を

傍聴された市民の方々

(敬称略)

清 繁三郎
山 崎
山 崎
松 山
山 崎
鉄之助
春 浪
野 浦
野 浦
塩 東

広域行政圏の参画に

目指すものは何か

質問 西多摩地域広域行政圏の参画についての基本的な姿勢をお聞きしたい。

また、幾つかの例を申し述べ、その考え方についてお尋ねしたい。

まず、社会教育面で当市にはすばらしい中央図書館がある。これをさらに充実するためにこれから計画される自治体に対し、利用していただくことを提言し、応分の負担をしていただくという考え方はどうか。

また、医療関係では、年間二、三名程度の患者収容のために大変な費用をかけている福生伝染病院組合を西多摩全域でやるという合理的な考え方を持っているかどうか。

そのほか、一市では財政的にも困難な総合検診センターや市民保養施設の建設、及び多摩川浄化のための環境保全運動の推進などはどうか。

なお、現時点で何か市の方で考えているものがあればお聞きしたい。

市長 昨年十二月に都知事から大都市周辺広域行政圏の認可を受けてから、規約に基づく事

業等を検討し、現在、基本構想、基本計画、さらには実施計画の策定、資料の収集などに努めているところである。

この中から共通した事業を取り上げ実施していくものと思われ、当市としては、御指摘された事項のほか、都市基盤整備の推進などを推し進めていきたいと思っている。

山積する行政施策の中で、町村相互の理解と信頼により、圏域の特質を見極め、その対応に努めていく考えている。

企画財政部長 御提言された

御意見は十分検討するつもりである。

また、当市としては、国道、都道の問題、防災関係で備蓄庫の問題、さらには美術館、博物館についても検討していただくつもりである。

いづれにしても、十月をめどに基本構想、基本計画ができるものと思われるが、具体的な実施計画については、議会の意向もお聞きしながら進めていきたいと思っている。

意見書

沿線住民が熱望している電化の早期実現の意見書が内閣総理大臣及び関係大臣に送付されました。

国鉄八高線八王子・高麗川間電化

早期実現に関する意見書

運輸省は去る五月八日、川越線の全線電化と一部複線化工事について認可した旨発表したが、われわれ沿線住民が川越線の電化とあわせて期待していた八高線八王子・高麗川間の電化が取り残されたことは、きわめて遺憾である。

よって国鉄及び運輸省はわれわれの永年の念願である八高線八王子・高麗川間の電化と川越線との相互乗り入れについて早期実現するよう強く要望する。

検討する余地があるか

私道整備の補助基準

質問 市の規則により市費で整備している私道の問題で、住民が異議を申し立て、監査請求になったことが先日新聞紙上で報道されていた。

本来ならば喜ばれてしかるべきことと思っているが、異議が出てきたことは誠に残念な事である。

行政の手順からも監督局である市に瑕疵があったわけではないが、私道整備の基準及び今後の方針等についてお聞きしたい。

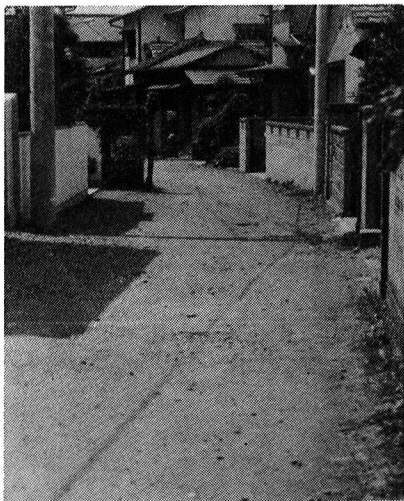
市長 私道の整備については

議会の御意見をいただきながら規則の整備をしてきたところであり、市民にもその手続き等で簡便で喜ばれる方がよいと認識している。

しかしながら、御指摘のように場所によっては特殊な事情も考えられるので、申請の段階で関係者の同意を求め、問題が起これぬよう努力していきたい。

建設部長 今回の場合、工事の日程等について施行者が歩いたと聞いているが、今後工事にあたる場合には、何らかの形で関係者には説明し異議が出ないよう努めていきたいと思っている。

また、適用除外の関係では下水道の問題があるが、環境整備の点からも三年以内に接続してもらおうということで住民の方には御協力をお願いしている。



数少なくなった市内の砂利道

実施不可能なのか

中学校の給食問題

質問 過日新聞報道された厚生省の国民生活実態調査によると、三世帯に一世帯の割合の主婦が、家計を助けるために働きに出ていととされていた。

働く両親や子どもたちは、中学校給食の早期実施に大きな期待を寄せており、私自身学校教育に不可欠な点から昨年一般質問でお尋ねしたわけだが、その後、検討、協議されたものと思われるので、その経過につい

てお聞きしたい。

教育次長 昨年の御質問でもお答えしたが、教職員の意向調査では六四％が反対、メニュー方式という不可能な条件つき賛成者が二二％、これらを合わせると八六％の教職員が反対ということであり、現在でも根強く反対している。

中学校給食の実施は、やはり教職員の理解と協力がなければ不可能であり、拙速は避け対応していく考えであるので御理解いただきたい。

監査請求の経過と

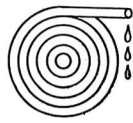
事務的手続きを問う

質問 今回提出された住民監査請求は、監査になじまないという理由で受理しない旨を請求人に伝え却下したわけであるが、その経過をお聞きしたい。

また、受理しないということ、監査請求に至っていないということなのかどうか。

なお、書類は返送されるものなのかどうか、文書の公表についてもお聞きしたい。

監査事務局長 住民監査請求



パイプ

議場の見学

四月は入学・入社シーズン、五月に入ると研修・施設見学などが最近とみに行われているようです。

議会事務局にも、毎年幾つかのグループが訪れ、議場などを見学されています。

小学三年生が社会科の学習で新任の先生方が市の施設見学の中で、また、町会やPTAの方々の見学もあります。

昨年は外人の方の見学も二グループありました。

見学される方の中には、初めて議場を見られる方も多く、市役所の中にもこんなところがあるのですかと驚かれる方もおられますが、小学生の見学では唐突な質問をし、説明する事務局職員を困らせることもありま

す。見学の中では主に議場の案内

の処理方法については、まず、受理するかしないか、請求が適法であるかどうか等の要件審査を行うわけである。

今回の場合、財務会計上の行為に限られており、審査の結果監査の対象にあたらなないと判断し却下したわけであるが、内容審査において適法であれば、そこから監査請求の監査が始まることになる。

なお、受けた書類の取り扱いについては、公文書であり請求人には返送しないし、文書の公表もしていない。

請願

陳情

継続

○陳情第五十九—一号

国立病院・療養所存置に関する陳情書

丸毛 静香氏

—昭59・2・24提出—

○陳情第五十九—二号

外国人登録法（指紋押捺など）の是正に関する陳情書

福生五五四

李 夏林氏

—昭59・3・8提出—

防衛補助事業の

実現方を陳情

横田基地対策特別委員会（村尾栄次委員長・上野重勝副委員長）では、去る六月二十二日東京防衛施設局に三條局長を訪れ昭和六十年度の民生安定施設事業（防衛補助事業）等について福生市に特段の配慮をするよう強く要請いたしました。

例年この時期に実施される陳情は、各省庁から国に対しまして来年度予算の概算要求が提出される時期にも当たり、当日は、直接担当される部課長の出席もいただき、議員から基地があることにより、種々な障害が発生している訴えや発言がありました。

また、同時に福生市の将来計画の事業を示して要請し、昭和五十九年度の事業の執行に対しても速やかに実施するよう要望いたしました。

なお、三條局長からは福生市の要請に対してはできるだけ配慮されるよう努力するとの回答がありました。